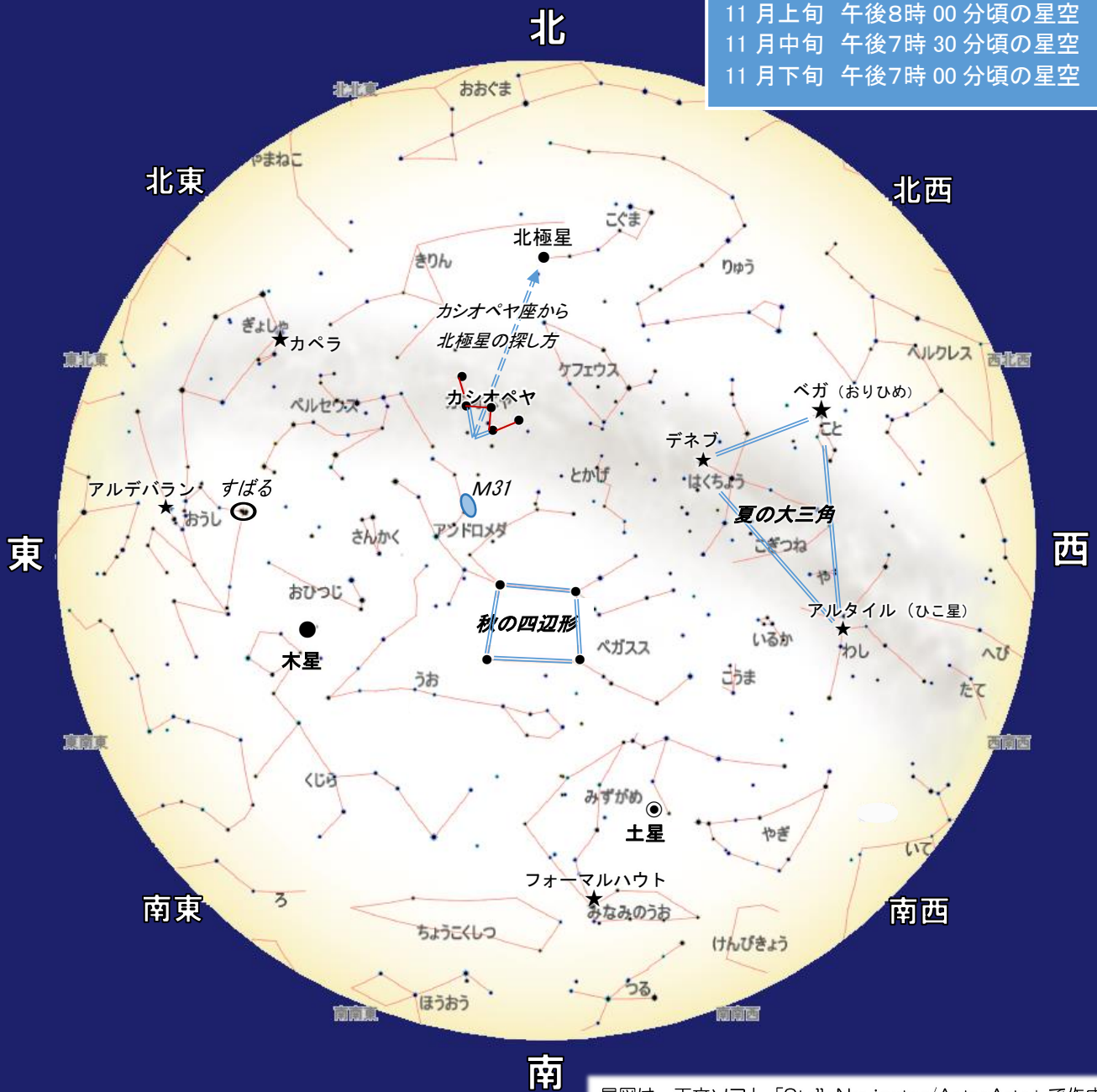


2023年 11月の星空案内



11月上旬 午後8時00分頃の星空
11月中旬 午後7時30分頃の星空
11月下旬 午後7時00分頃の星空



星図は、天文ソフト「StellaNavigator/AstroArts」で作成

【11月の星空と惑星】

秋の星座さがしの目印はペガサス座の『秋の四辺形』です。西側の辺を南に延ばすと、秋の星座で唯一の1等星「フォーマルハウト」、東側の辺を北に延ばすと、カシオペヤ座や北極星が見つかります。日の入りの時刻も早まり、日が暮れてしばらくは、まだ空高くに『夏の三大角』（ベガ・アルタイル・デネブ）が目立ちます。

空が暗いところでは「アンドロメダ銀河 (M31)」を肉眼でも見るすることができます。7~10倍程度の双眼鏡を使うと、楕円形にポーッと広がる雲のように見えるのが、アンドロメダ銀河です。

【太陽系の惑星】

宵の空では「土星」に続いて「木星」が観察の好機を迎えます。3日には木星が衝となり一晩中観測できます。-2.9等の明るさで輝くので、とても目立ちます。ガリレオ衛星と呼ばれる4つの衛星（イオ・エウロパ・ガニメデ・カリスト）は、双眼鏡でも見るすることができます。月刊「星ナビ」参照